

第23回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA アジア大会(ホール審査) 総評
ショパニストS部門

●審査員 A

全体的に、音楽的な表現に対する感覚はありました。時々物足りなく思ったのは、美しい音作りです。ショパンの音楽では、これが最も重要だからです。練習するときは、よいリズムで、和音の中の音色のバランス、和声進行に注意しながら、まずはゆっくりしたテンポで始めましょう。そして少しずつテンポを上げて、最終的に望ましいテンポで弾けるようになるまで練習しましょう。

●審査員 B

年齢を重ねてもピアノへの真摯な想いをもち続けておられることを先ず何よりの敬意を抱きます。身体の脱力はいくつになっても私たちについて回る問題です。より長い間弾いていけるように常に脱力についても思いめぐらせて練習を重ねてください。

●審査員 C

コロナ禍にもかかわらず、ホールで演奏を聴かせて頂き、幸せな時間でした。シニアの部門と思えないほど、パワフルで情熱的な演奏が続きました。ペダルのデリケートな、効果的な使い方や楽譜に書かれている *Leggiero* 等をしっかり読んでいただきたいと思います。聴かせて頂き、ありがとうございました。

●審査員 D

キャリアを感じさせる理解力のある良好な演奏が多く見られました。デュナーミクを更に増やし、響きを豊かに和音の握力を考えると今後が開かれると思います。

●審査員 E

- ・自然な流れがエスプレッシーヴォにつながります。(歌の為、音楽が停滞してしまう。つまり歌うことに必要以上のルバートをかけると、真のエスプレッシーヴォを損なってしまいます。また左手の動き、ハーモニーをもっと聴くと右手が活かされます。)
- ・総体的に音楽的によく演奏していました。

●審査員 F

みなさん、音がきれいで客観的な見方をしていच्छるのが印象的でした。音楽の流れも自然です。ご自身の演奏によく耳を傾けていच्छるのだと思います。欲を言えば、音色の変化がもっと大胆でもいいと感じました。